

## 区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和2年10月28日（水曜日） 14時から16時
会 場	南中野区民活動センター
テ ー マ	中野区基本構想改定検討素案について
出席者 区 民	計8人
区 側	区長、企画部長、基本構想担当課長、南部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
一 時 保 育	有
手 話 通 訳	無

区長あいさつ	
<p>基本構想検討素案についての区民意見交換会は、2月に1回実施した後に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により中断していた。この意見交換会は、新型コロナウイルス感染症の影響などを踏まえて基本構想検討素案を改定したので、改めて実施することとしたものである。</p> <p>基本構想は、中野が10年後に目指すまちの姿を描くものである。重視しているのは、少子高齢化対策である。日本全体の人口は減少しているが、中野区は、当面の間は人口は減らないと推計している。しかしながら、現在、0～14歳が区の全人口に占める割合は、23区中で最下位である。子育て家庭が暮らしやすい環境を整えていく必要がある。また、中野区の65歳以上の人口は増加傾向が続き、一方、総人口は2035年をピークに、その後減少すると考えている。これから、3人に1人が高齢者という社会が到来する中で、地域で支えあい、誰もが安心して暮らせるようにしていく必要がある。</p> <p>また、災害対策も重要である。近年、全国各地で台風等による被害がでている。中野区においても、今後起こりうる災害に向けた対策を着実に進めていく必要がある。今日は、積極的にご意見をいただければと思う。</p>	
区民の意見・質問	区長の回答等
<p>2021年10月で本町図書館と東中野図書館が閉館になるということで、残念に思っている。今は、このことを知らない地域の方がほとんどだと思うが、知ったら、失望したり残念に思う方がいると思う。新しい図書館ができるから良いということにはならない。</p>	<p>本町図書館と東中野図書館の閉館については、教育委員会と連携して地域に対して丁寧な説明をしてきた。今後も丁寧に説明していきたいと考えている。また、今後、基本計画と併せて区有施設整備計画を策定していくが、丁寧な説明をしていきたい。</p>
<p>子どもから高齢者までの「学び」という言葉が一箇所しかないが、学びは人生を豊かにするものだと思うので、知的興味を満たしてくれるまちであることが分かるような記載があると良い。</p>	<p>「生涯を通じて楽しく健康に過ごせる環境をつくります」の中に、ご意見の主旨は含まれている。</p>
<p>「遊び心あふれる文化芸術をまち全体に展開します」に、「遊び心あふれる」とあるが、にぎやかになればいいというものではないと思う。安全・安心で騒音のない静かな住環境に、人は住み続けたくなるものだと思う。にぎわいだけではない、中野区らしい表現にしてほしい。</p>	<p>「遊び心あふれる」という表現は、知的好奇心を満たしてくれる、といった意味合いも含めて用いており、中野区の特徴を捉えた表現だと考えている。</p>
<p>この意見交換会は、録音・録画・写真撮影は禁止となっているのは、なぜか。こうした意見交換会は、形式的なものではなく、広範な区民意見を反映させるための工夫が必要だと思う。</p>	<p>お互いに自由な発言をしたいという趣旨で、そうしたルールにさせて頂いている。意見交換会のほか、関係団体などからも意見を伺うとともに、メール等でも意見をいただいている。南中野区民活動センターは6回目の開催であるが、これまで熱心な意見も多く、子育て中の方など若い人の参加も多かった。普段、区政にアクセスすることのない方にも参加していただいと感じている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>「地域経済活動を活性化させます」に「商店街は多彩な役割を果たし」とあるが、今の商店街を見ると、具体的なイメージがわからない。商店街は、10年前は、地域コミュニティの核になると言われたが、今はそういう商店街はほとんどない。基本計画の中では、具体的にどのようなことを進めていくのか、示してほしい。</p>	<p>商店街の役割には、見守り・支えあい、地域の防犯などがあると思う。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、昼間に家にいる人が増え、商店街に人が戻ってきていると感じる。魅力的な個店があることが地域の豊かさにつながっていくと感じた人が多かったと思う。今後は、新規出店者への支援など、個店への支援に力を入れていきたい。</p>
<p>中野駅周辺だけでなく、南台など、他の地域のことも考えながら進めてほしい。中野駅周辺まちづくりが他の地域からは見えにくいので、より多くの人に参加できる対話の機会をつくってほしい。</p>	<p>南台・弥生町では、防災まちづくりを進めている。中野駅周辺はこれから進めていくまちだと思っている。南中野の方々にも、引き続き中野駅周辺のまちづくりに興味をもっていただけるよう、情報発信をしていきたい。</p>
<p>廃止になった本町図書館や東中野図書館の跡地はどうなるのか。地域の高齢者や子育て家庭等、幅広い年代の人が利用できるよう、活用してほしい。地域開放型学校図書館ができて、図書コーナーができるだけで、憩いの場にはならないと思う。</p>	<p>具体的な施設配置については、基本計画と併せて策定する区有施設整備計画において示していきたい。区全体の施設の配置は、地域の希望を踏まえつつ、人口構造の変化の中で、少子高齢化などへ対応していかなければならない。本町図書館の土地については、寄贈を受けたものなので、それを踏まえた検討を進める。地域の意見も聴いていきたい。</p>
<p>生活の変化、人口移動、AI技術の進展等、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を踏まえると、前例踏襲の行政ではだめだと思う。ワンストップ窓口を、これまでずっと目指してきていると思うが、実現できていないと感じる。中野区役所の新庁舎はこのままでいいのか、ということを変更して考えてほしい。</p>	<p>時代は急速に変化しているので、課題意識をもって取り組んでいきたい。区役所に来なくても手続きができるようにデジタル化をしていきたい。また、現在、新しい区役所の庁舎の検討を進めており、その中でも改善を図っていきたい。</p>
<p>オンライン教育が進むのはいいが、家庭の状況により、教育の格差が生じないようにしてほしい。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、在宅学習支援として、家庭にICT環境がない小学6年生～中学3年生の児童・生徒にタブレットとルーターを貸与中である。それとは別にGIGAスクール構想による児童・生徒一人一台端末の配備について、今年度中に完了するよう準備を行っている。また、学校や教職員への支援も合わせて行い、社会の変化に対応した教育環境を整えていきたい。</p>
<p>区の職員がよく変わる。進んできたことが、職員が変わるたびにスタートに戻ってしまっているように感じる。</p>	<p>職員の異動については、区としても長期化できないか検討している。短期間で異動することは、知識の蓄積ができない、人との関係が構築しにくいなど、経済的合理性が少ないと思っているので、改善していきたい。</p>
<p>現在、鍋横区民活動センターが建っている土地はどうなるのか。図書館にしてもいいと思う。新しい鍋横区民活動センターの予定などを教えてほしい。</p>	<p>現在の鍋横区民活動センターは、区民活動センターと保育園の複合施設である。跡地をどうするかについては検討中である。新しい鍋横区民活動センターには、高齢者施設等を併設することを考えている。地域にとっては良い環境になると思っている。</p>

区民の意見・質問	区長の回答等
<p>中野駅周辺に、今後、どのような建物が建つか教えてほしい。</p>	<p>中野駅南口では、現在再開発ビルを建設しているが、オフィスや住宅が入る予定である。中野区は地権者として加わっている。中野駅南口は4～5年くらい後に整備できる見込みである。</p> <p>中野駅北口については、中野サンプラザの跡地活用については、事業者の選定段階である。現在の中野サンプラザと中野区役所を合わせた土地に整備するので、現在よりも大きな建物が建つことを想定している。現在、想定している機能はオフィス、商業、住居、ホテル、宴会場、ホール等である。</p>
<p>「区民に信頼される対話と参加の区政を進めます」とあるが、これは地方自治の原則である。具体的に進めていくための仕組みを基本計画で考えていく必要がある。過去には、多くの区民から意見を聞くために、住区協議会制度などがあったが、そうした参加の仕組みを、考えて実践して行ってほしい。区の職員は2,000名を下回ったとのことなので、住民とともに歩む職員、住民の中に溶け込んで、区政を担っていく職員を増やして行ってほしい。</p>	<p>対話と参加の区政を進めることは、とても大切なことだと思っている。職員数が減っていく中でも、地域に出向く職員を増やしていきたい。地域に出ないと課題が分からず、政策はつぐれないと考えている。意見を聞くことも大事だが、住民の皆さんと一緒に汗をかくことも大事だと思っている。</p>
<p>南台いちょう公園について、公園から聞こえてくる音がうるさく夏の夜は眠れないことがあり、所管課の職員に来てもらって話をしている。現場に来ないとわからないこともあると思うので、現場を見に来るようにしてほしい。</p>	<p>南台いちょう公園について、ほかの住民の皆さんから、夜うるさいという声があることは聞いている。現場でも同様の意見を聞いているところである。公園の利用については、住民の皆さんの意見をうかがいながら、改善していきたい。</p>
<p>中野区は、手厚い子育て支援があると感じているが、それでも産後は孤立しがちになった。子育て支援講座等がたくさんありすぎて、いつ何があるかという情報がまとまっていないと感じる。中野区は、出産を契機に転出する子育て家庭が多いとのことだが、中野区の子育て環境は悪くないと感じている。ただ、5年・10年後に子どもが増えたときは、住宅の広さなどに不安がある。</p>	<p>子育て支援講座等の情報発信について、区では、区報、ホームページのほか子育て応援のメールマガジンを配信しているが、今後、改善していきたい。子育て家庭の転出については、家賃が高いことが原因の一つだと思うが、区として家賃補助などは難しい。人とのつながりの形成や魅力づくりにより、多少家が狭かったとしても、子育て家庭に住んでもらえるまちなししていきたい。</p>